

## 令和4年度 市民意見交換会（福祉文教常任委員会）

《令和5年2月16日》

意見交換の相手団体：社会福祉法人 円勝会

意見交換会のテーマ：障害者スポーツへの理解と普及促進について

### 主な意見（一部抜粋）

・市民体育館で楽しく障害者の方と健常者の方がスポーツをしている姿を見ていただければ、障害者スポーツへの興味など、普及につながる。

・委員から提案いただいたボッチャ競技のボールに革を使う案の他にも、障害者のサポート器具や車イスの防御部分など、障害者の方が使われるものはとても高いので、地場産業で、障害者の方にあったものを作っていただけるような企業があればと思う。

・こちらから学校へ話をしても、カリキュラムや、年度替わりで先生の転任など、なかなか難しく進まない。教育委員会のほうでも、障害者スポーツ体験を広めていただくなど、是非とも特別学級の先生方に体験してもらって、自校での職員会議や保護者との席上で話し、広めていただければ、少しずつでも動き出すと思う。

・市民体育館の利用が困難で、年度当初の予約でも固定利用の方が多く、なかなか利用できない。福祉枠としてスポット的にでも無理のない程度で使用はできないか。

・今回、資料として用意した「ひょうごの障害者スポーツガイドブック」を見ていただき、多くの障害者が取り組めるスポーツがあることを知って欲しい。

・多くの方に参加してもらうには駐車場の問題があるので、市民体育館など公的な施設で、健常者と障害者の方が一緒に取り組めるイベントができれば、ユニバーサル社会とか地域共生社会といった社会づくりの一助になると思う。

・大きな大会で、子どもたちのボランティア参加等を検討するのであれば、実行委員会的なものを作る過程で、学校関係の方に入っていただければと思う。

・たつの市出身、たつの市在住の方で、福祉関係に勤めている方が少ない。



・たつの市の子どもたちに将来、福祉のほうを向いてもらうには、一緒に障害者スポーツをするといった学習を入れてもらい、学校や担当の先生がサポートやリードしてあげれば、もっと福祉のほうに目を向けてくれるのと思う。